



令和7年 10月発行 第63号

社会福祉法人 敬仁会
特別養護老人ホーム
白 亜 館

ホームページ

<http://hakuakan.ec-net.jp>



夏恒例スイカイベント



8月13日に各フロアーごとに一玉のスイカを提供しました。スイカを手にした利用者様からは「おいしそうなスイカやな」「重たいけど久しぶりに一玉のスイカを持ったわ」という声が多く聞かれました。各フロアーでスイカの切り方に工夫を加え、利用者様はとても笑顔で召し上がっていました。スイカにはカリウムやビタミンなど豊富な栄養素が含まれており、むくみ解消や高血圧予防、老化予防、美肌効果、熱中症予防、疲労回復、夏バテ予防など様々な効果があると言われています。白亜館の夏の恒例行事のひとつとして、今後も継続的に実施していきたいと思っています。



管理栄養士 井上 真由美





敬老の日を迎えられた白亜館のご利用者の皆様、誠におめでとうございます。今年も9月15日に無事敬老会を開催することができました。100歳と88歳の2名の方にはご家族様もお呼びして一緒にお祝いをしました。昼食ではお祝い御膳のほかに尾頭付きの鯛も振舞い、「毎月こんなご馳走を食いたい」「健康で美味しく御飯が食べられることは幸せ」と笑顔でおっしゃっていました。この日はたくさんのご家族様が来館されて一緒に敬老の日を迎えていました！

利用者様からはいつも「おはよう」や「ありがとう」と元気な声を聞かせて下さり、その笑顔と明るさに私たち職員は毎日活力をもらっています。来年も健康で敬老の日を迎えられることを楽しみにしています(*'▽')

お祝い品

フェイスタオル3枚組セット



開設20年目のスタートに向けてのご挨拶

秋晴れの候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2006年9月1日に白亜館1号館をオープンし、2012年4月1日に2号館を増床して以来、本年9月1日に無事20年目を迎えることができました。この記念すべき日を迎えることができましたのも、ひとえに利用者様ならびにご家族様、地域の皆様からの温かいご支援の賜物であり、職員一同、心より感謝を申し上げます。

振り返れば「我がままな人生を安全・安心・快適」に過ごして頂くという想いから、白亜館は誕生しました。施設長として歩んできた道のりは、決して平坦なものばかりではありませんでした。特にコロナ感染症によるクラスター発生で私たちの日常は一変しました。利用者様の命を守るという使命のもと、職員全員が極限まで追い込まれる日々が始まり、まるで終わりが見えない戦いの連続でした。ご家族様にも幾度となく面会制限を設けるなどご不便とご心配をおかけしました。それでも変わらず白亜館を信頼し、ご協力くださった利用者様とご家族様には感謝の言葉しかありません。

今後もこれからの時代に求められる介護のあり方を常に探求し、利用者様お一人おひとりの個性を尊重した質の高いサービスを提供できるようスタッフ一同、より一層精進してまいります。今後も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人敬仁会 特別養護老人ホーム白亜館
施設長 足立 裕明



新人職員紹介



特養 介護職員

こんどう ふみお

近藤 史乙

介護のお仕事は初めてですが、先輩方がとても親切に教えて下さっています。利用者様から信頼される介護士を目指して頑張ります。そして白亜館で介護経験を積んで将来は介護福祉士の資格取得を目指したいです。よろしくお願い致します。

デイサービス看護職員

かねひら なるみ

金平 成美



看護や機能訓練のお仕事だけでなく、介護のお仕事もサポートさせて頂きます。

「元気な挨拶」「常に笑顔忘れずに」「丁寧な言葉遣い」をモットーに利用者様のために頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



日常生活内動作訓練



白亜館では日常生活内動作訓練等の一環として毎日9:30より全館に館内放送をかけてラジオ体操を行なっています。日常生活内動作訓練には人間の歩く、起き上がる、食事をする、トイレに行く、着替える、顔を洗うなど基本動作のことを言います。利用者様お一人ひとりの能力に合わせて支援しています。



介護福祉士

合格しました！



介護福祉士 市丸 蓮華

私が介護の仕事をしたきっかけは、母親が介護の仕事をしている姿に憧れたことです。母親が利用者様に感謝される姿をたくさん見て私も母親のようになりたいと思いました。

白亜館で介護の仕事を続けていく中で「いつもありがとう」「若くて元気があるね」と利用者様から感謝と喜びの言葉を頂くようになり、もっとたくさんの介護技術と知識を身に付けたいという思いが込みあげて来ました。

今年、3年間の介護現場の実務経験と研修を経て無事に介護福祉士に合格できました。私自身、資格を取ってからが本当の勉強の始まりと思っています。介護の仕事をした初心を忘れずにこれからも精進していきたいです。



編集後記

政府は今年度から約1700万人とされている就職氷河期世代の支援策について本格的な対策を打ち出し始めました。広報誌編集者の私も就職氷河期世代真っ只中です。当時、某福祉施設の就職試験を受けた時は5人の応募に対して約150人の応募者があったのを覚えています。1次試験では5科目筆記試験や心理テストや体力テストを経て、それに合格したわずかな人のみ2次試験の面接試験を受けることができました。私の結果は1次試験で不合格。この就職氷河期世代が2040年頃に高齢期を迎えることで、年金や医療、介護などの社会保障制度への負担増、生活困窮者の増加、労働力不足など、様々な問題が深刻化すると言われています。私は2040年を迎える前に就職氷河期世代の支援が急務だと感じています。政府が今後、どのような打開策を打ち出して行くのか注目していきたいです。